

水産食料品製造業における動作の反動無理な動作災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	9~10	板を両手で挟んで持ち上げ、作業台の上に上げていたとき板が右側へ少し傾き、落とさないようにと右手の方へ力が入り、特に板の下を支えていた右手親指に力がかかり、右手親指の付根の関節がゴツキと音がし、板を置いたあと激痛で作業用ハサミと包丁を握ることができなくなった。	68~29	10
1	13~14	休憩が終わり、仕事のため階段を下りる途中で左足を着いたとき、膝に激痛がはしり、そのあと足を着けなくなった。	63	1~9
2	14~15	金属探知機と前の台とを接続するものが外れていたため、はめようと、重い金属探知機の脚を腰を屈めて持ち上げた時、負傷した。	58~99	50
3	17~18	敷地内工場壁面を工業用高圧洗浄機を使用し清掃していた際、工業用高圧洗浄機のスイッチを不意に切られたため、水圧が掛からなくなり、体勢を崩し股関節を負傷した。	57	10~29
3	11~12	第2作業場で生姜つゆの入ったカゴ（15kg位）を作業台に載せる際、誤って腰を負傷した。	23	30~49
4	9~10	工場加工室において、わかめの水戻し作業中、水戻し水槽（W240cm×D70cm×H80cm）から丸ザル（Φ55cm×H18cm）に入った水戻し済みの若布（約8~12kg）を約1m後方のローラー台（H70cm×D45cm）へ移動する際、腰に痛みを感じ、腰椎圧迫骨折を負った。	67	30~49
	14~	当社工場内において、製品原料のタコが入ったカゴ（縦50cm、横62cm、高さ30		10

5	15	cm、重さ30kg前後)を2人で持ち上げた瞬間、ポキッとした音とともに両肩に痛みを感じた。	74	～ 29
5	14～ 15	当社工場内において、冷凍ホタテが入った段ボール(約16kg)をパレットに積み下ろし作業中、段ボールを持ち上げた時に負傷した。	46	50 ～ 99
5	7～8	工場の製造室内で約20kgの解凍中のすり身を持ち上げた時に足に違和感を覚えた。そのあと足が痛くなり、作業ができなくなった。	31	50 ～ 99
6	7～8	工場内の水槽の前にて、水を抜いた水槽内から、豆の入った籠を持ち上げ作業中、腰に痛みがはしった。	28	10 ～ 29
6	13～ 14	加工場内にて、茹であがったシラスの入ったセイロ(77cm×107cm)を2人で持ち上げてパレットへ積み上げる際、入社初日のため不慣れでタイミングが合わず、左手を捻り負傷した。	40	10 ～ 29
6	16～ 17	当社加工場でパレットの中に重なり合っている大型の冷凍魚を、1尾ずつ持ち上げて原魚台に降ろす作業をしていた最中、腰を痛めた。	34	10 ～ 29
7	10～11	被災者は、トイレに行った帰り、休憩室にて水を飲もうと立ち寄った際、床の水拭き清掃であったため、滑って足を捻った。被災当初は、軽傷と思い湿布を貼り作業に戻ったが痛みがひどくなったため、診察を受けた結果「右足関節捻挫」と診断された。	36	50 ～ 99
7	16～17	入社時よりガラスビンのキャップを両手で閉める作業において、両手首が痛くなり後日我慢できなくなった。	32	50 ～ 99
7	9～ 10	当社工場内に於て、万鯛の加工処理作業中、作業台の上に乗せた万鯛の上身処理を終え、下身の処理に移るべく魚を反転させた際、魚が自重(約40kg)により横すべりしたため、これを支えようとしたが魚の重みに耐えきれず、突然左上腕部から	57	100 ～ 299

		頭キッという音と伴に激痛が走り、左上腕部の腱を断裂負傷した。		
7	7~8	ホタテの水揚げ作業が始まり、早朝より洋上で水揚げ作業を行い、加工場に持ち込みホタテカッターへ1枚ずつ投入する作業を担当していた。重いカゴを持ち上げる作業と連続してホタテを投入する作業で手首に負担がかかったと思う。左手首の痛みを感じ翌日に右手首も痛くなったので手首用サポーターで保護し無理のない作業をした。翌々日に水揚げ作業後痛みが増し両手首がつかえない状態となった。	42	1~9
7	18~19	業務終了後の退社時、社員玄関を出て階段を下りるとき、躓いて左足首を捻ってしまった。	55	300~499
7	14~15	水産加工場第1加工室において、シイラ（鮮魚）の3枚おろしの作業中、右手人差し指に痺れを感じたが、我慢できないような痛みではなかったため、そのまま所定時間より30分程多く仕事をして帰宅した。原因は、シイラ加工の仕事が多くなり、疲労が蓄積されたためと考えられる。	41	10~29
9	15~16	パレットに12段積み上げられた、氷が入った発砲をローラーに4箱ずつ移す作業を午後行った。作業後背中、腰に激痛、足にしびれを感じたがたいしたことはない様子を見た。	67	100~299
9	17~18	当社敷地内のホタテ工場洗い場にて、床に縦に置かれていた洗浄済みのパレット（縦130cm×横130cm×高さ13cm・重さ27kg）を横に置こうとして掴んだところ、手を滑らせて右足甲の上に落としてしまい、骨折したものである。	58	100~299
9	9~10	屋外の浮き置場にて、浮きを抱えて移動中、足元が見えなかった為ロープを踏んでしまいつまずいた際に、右足かかと、ふくらはぎを打撲・捻挫した。	28	1~9
10	11~12	当社工場内で片付け作業中に被災。被災者は、昼休憩前の片付け作業をしていた。作業台にあった空のパケット（プラスチック製、縦300mm、横200mm、厚さ100mm）を4枚両手で持って洗い場に行こうとしたところ右足踵付近が床に置いてあった台車に当たり台車が動いたため、左足で踏ん張った際に左足膝部分に痛みが生じた。	42	100~299

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html